

亀山市一般職の任期付職員の採用等に関する条例施行規則をここに公布する。

平成28年3月31日

亀山市長 櫻井 義之

亀山市規則第17号

## 亀山市一般職の任期付職員の採用等に関する条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、亀山市一般職の任期付職員の採用等に関する条例（平成28年亀山市条例第2号。以下「条例」という。）第13条の規定に基づき、条例の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(任期を定めた採用の公正の確保)

第2条 任命権者は、条例第2条各項の規定に基づき、選考により任期を定めて職員を採用する場合には、性別その他選考される者の属性を基準とすることなく、及び情実人事を求める圧力又は働きかけその他の不当な影響を受けることなく、選考される者について従事させようとする業務に必要とされる専門的な知識経験又は優れた識見の有無をその者の資格、経歴、実務の経験等に基づき経歴評定その他客観的な判定方法により公正に検証しなければならない。

(辞令書の交付)

第3条 任命権者は、次の各号のいずれかに該当する場合には、任期付職員（条例第2条から第4条までの規定により任期を定めて採用された職員をいう。以下同じ。）に対して辞令書を交付しなければならない。ただし、第4号に規定する場合において、任命権者が辞令書の交付によらないことが適当であると認める場合は、辞令書に代わる文書の交付その他適当な方法をもって辞令書の交付に替えることができる。

- ( 1 ) 任期付職員を採用する場合
- ( 2 ) 任期付職員の任期を更新する場合
- ( 3 ) 任期の途中で任期付職員が退職する場合
- ( 4 ) 任期の満了により任期付職員が当然に退職する場合  
( 特定任期付職員の号給の決定 )

第 4 条 特定任期付職員 ( 条例第 7 条第 1 項に規定する特定任期付職員をいう。以下同じ。 ) の同項の給料表の号給は、その者の専門的な知識経験又は識見の度並びにその者が従事する業務の困難及び重要な度に応じて決定するものとし、その決定の基準となるべき標準的な場合は次の各号に定めるとおりとする。

- ( 1 ) 高度の専門的な知識経験を有する者がその知識経験を活用して業務に従事する場合 1 号給
- ( 2 ) 高度の専門的な知識経験を有する者がその知識経験を活用して困難な業務に従事する場合 2 号給
- ( 3 ) 高度の専門的な知識経験を有する者がその知識経験を活用して特に困難な業務に従事する場合 3 号給
- ( 4 ) 特に高度の専門的な知識経験を有する者がその知識経験を活用して特に困難な業務に従事する場合 4 号給
- ( 5 ) 特に高度の専門的な知識経験を有する者がその知識経験を活用して特に困難な業務で重要なものに従事する場合 5 号給
- ( 6 ) 極めて高度の専門的な知識経験又は優れた識見を有する者がその知識経験等を活用して特に困難な業務で重要なものに従事する場合 6 号給
- ( 7 ) 極めて高度の専門的な知識経験又は優れた識見を有する者がその知識経験等を活用して特に困難な業務で特に重要なものに従事する場合 7 号給  
( 特定任期付職員業績手当 )

第 5 条 条例第 7 条第 4 項に規定する特に顕著な業績を挙げたかどうかは、同条第 2 項又は第 3 項の規定により特定任期付職員の給

料月額が決定された際に期待された業績に照らして判断するものとする。

第6条 特定任期付職員業績手当は、12月1日（以下「基準日」という。）に在職する特定任期付職員のうち、特定任期付職員として採用された日から当該基準日までの間（特定任期付職員業績手当の支給を受けたことのある者にあつては、支給を受けた直近の当該手当に係る基準日の翌日から直近の基準日までの間）にその者の特定任期付職員としての業務に関し、特に顕著な業績を挙げたと認められる者に対し、当該基準日の属する月の亀山市職員の期末手当及び勤勉手当に関する規則（平成17年亀山市規則第28号）第21条に規定する期末手当の支給日に支給することができる。

（一般任期付職員の級別資格基準表の適用方法等の特例）

第7条 条例第2条第2項の規定により任期を定めて採用された職員（以下「一般任期付職員」という。）であつて、その者が有する専門的な知識経験、従事する業務等に照らして、亀山市職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規則（平成17年亀山市規則第18号。以下「初任給規則」という。）第2条第5号に規定する採用試験の結果により採用された者に相当する者として市長が認めたものについては、初任給規則別表第1に定める級別資格基準表（以下「級別資格基準表」という。）の試験の欄の採用試験の区分のうち当該試験に対応する区分を適用することができる。

2 一般任期付職員に対して、初任給規則第9条第1項第2号の規定を適用する場合において、部内の他の職員との均衡上必要があると認められるときは、級別資格基準表に定める必要経験年数に100分の80以上100分の100未満の割合を乗じて得た年数をもって、級別資格基準表の必要経験年数とすることができる。

（一般任期付職員の号給の決定の特例）

第8条 新たに一般任期付職員となった者の号給は、採用の日の前日から、級別資格基準表を適用する場合における当該職員の経験

年数に相当する期間をさかのぼった日に採用され、引き続き在職したものとみなして、当該さかのぼった日において、初任給規則別表第5に定める初任給基準表において、前条第1項の規定による級別資格基準表を適用して得られる初任給を基礎とし、かつ、部内の他の職員との均衡を考慮して昇格、昇給等の規定を適用した場合に当該採用の日に受けることとなる号給を超えない範囲内で決定することができる。

(初任給規則の規定の適用に関する読替え)

第9条 前条の規定の適用を受ける一般任期付職員については、初任給規則第8条中「第16条第1号又は第2号」とあるのは、「亀山市一般職の任期付職員の採用等に関する条例施行規則(平成27年亀山市規則第17号)第7条」と読み替えるものとする。

(特定業務等従事任期付職員の級別標準職務)

第10条 条例第9条第2項に規定する特定業務等従事任期付職員の職務の級の分類の基準となるべき標準的な職務の内容は、亀山市職員給与条例(平成17年亀山市条例第43号)第4条第2項の規定の適用を受ける職員の例による。

(委任)

第11条 この規則に定めるもののほか、任期付職員の採用等に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この規則は、平成28年4月1日から施行する。